



はよくび通信

第
20
42
号
21



写真提供：日本将棋連盟
渡辺明名人に斎藤慎太郎八段
が挑戦する第79期名人戦七番勝
負は、5月4日（火祝）・5日（水
祝）に万松寺で第3局が行われ
ることに決定し、熱戦が期待さ
れます。

渡辺名人 × 斎藤八段

現在のタイトル保持者である
斎藤慎太郎八段は、初の名人防衛戦と
なります。その名人への挑戦を行
う「A級順位戦最終局」が、2月
26日に一齊対局で行われ、斎藤慎
太郎八段が羽生九段や豊島竜王
などの並み居る強豪をかわしA
級優勝を果たしました。

将棋の8大タイトル戦

渡辺明名人は、20歳という若さ
で竜王を獲得してから、前人未到
の竜王9連覇を成し遂げた理論
派棋士の第一人者です。中学生で

大須商店街の協力



一方の斎藤慎太郎八段は、将棋
コンピュータソフトとの戦い「電
王戦 FINAL」で、将棋ソフト
Aperryに勝利を収めた若手
には王座戦挑戦権を獲得し、中村
太地王座（当時）をフルセットで
破り、悲願の初タイトル獲得を果
たしました。詰将棋愛好家として
も知られており、「（詰将棋を）好
きを通り越して愛している」と公
言しています。

プロ入りを決めた5名の棋士の
中の一人で、他に加藤一二三九
段、谷川浩司九段、羽生善治九段、
藤井聰太王位・棋聖が中学生棋士
となっています。夫人で漫画家の
伊奈めぐみさんの描く「将棋の渡
辺くん」では意外な一面が描かれ
ています。

藤井聰太王位・棋聖が中学生棋士
となっています。夫人で漫画家の
伊奈めぐみさんの描く「将棋の渡
辺くん」では意外な一面が描かれ
ています。

第79期名人戦第3局開催

渡辺明名人に斎藤慎太郎八段
が挑戦する第79期名人戦七番勝
負は、5月4日（火祝）・5日（水
祝）に万松寺で第3局が行われ
ることに決定し、熱戦が期待さ
れます。

名人戦

「名人戦」とは、毎日新聞社と
朝日新聞社、日本将棋連盟の三社
主催の将棋の8大タイトル戦の
ひとつで、タイトル戦の中で一番
長い歴史を持ち、竜王戦と並び将
棋界最高位のタイトル戦とされ
ています。

名人と挑戦者で七番勝負を行
い、先に4勝したほうが名人とな
ります。

現在のタイトル保持者である

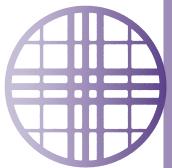
渡辺明名人は、初の名人防衛戦と
なります。その名人への挑戦を行
う「A級順位戦最終局」が、2月
26日に一齊対局で行われ、斎藤慎
太郎八段が羽生九段や豊島竜王
などの並み居る強豪をかわしA
級優勝を果たしました。

名人戦開催にあたり、万松寺
通・新天地商店街の横断幕、勝負
めし、対局時の静寂を保つために
新天地商店街のBGMを切つて
いただくななど、大須商店街にもご
協力をいただいております。

万松寺限定グッズ
授与品



住職の小噺



小噺



信長公記によると、信長は幸若舞の曲目のうち「敦盛の一番」しか舞わなかつたとされています。この中の一節「下天」とは、仏教における六道（天上界、人間界、修羅界、畜生界、餓鬼界、地獄界）の中で一番下の世界にある「四大王衆天」を指しており、その1日は、人間界の50年に相当します。よく人間の寿命が50年という意味に勘違いされがちですが、人間世界と下天における時間間隔と比較をしたものとなります。

前回のはくび通信では、からくり人形「信長」の第一場「抹香事件」についてお話ししました。今回は第二場「幸若舞」についてお話しします。

■桶狭間の戦いと

第二場「幸若舞」



前回のはくび通信では、からくり人形「信長」の第一場「抹香事件」についてお話ししました。

今回は第二場「幸若舞」についてお話しします。

からくり人形「信長」の上演は第一場「抹香事件」が終わると、舞台が反転し、中央に若き日の信長とは対照的な信長が現れ「人間五十年、下天の内をくらぶれば、夢幻の如く也、一度生を得て滅ぼせぬ者の有るべきか」と重厚な声を響き渡らせます。

桶狭間の戦いへの出陣前に清洲城で信長が舞つた天下の舞「幸若舞」をからくり人形で再現した第二場です。

■桶狭間の戦い

1552年、織田信秀（信長

の父）の死をきっかけに駿河の大名だった今川義元が尾張を手中におさめようと動き始めました。当時の今川軍は2万5000人ともいわれ、4000人余りの織田軍では太刀打ちできないと思われていました。ところがその今川軍を破り信長の躍進が始まったのが、1560年の桶狭間の戦いです。不利な戦況だと誰もが思うなか、信長は精銳ぞろいの織田軍に全てを



今日もまた梵鐘の響きとともに織田瓜の付いた重厚な扉がゆっくりと開き、からくり人形「信長」の上演が始まります。

桶狭間の戦いで見せた「生あるうちにやるべきことを成し遂げるべき」という信長の強い覚悟は、現代の私たちにも大変大きな教訓を示しているのかもしれません。

桶狭間の戦いへ出陣前に清洲城で信長が舞つた天下の舞「幸若舞」をからくり人形で再現した第二場です。

1552年、織田信秀（信長

万松寺住職

大藤

元裕

合掌

4/28
(水)

前立不動明王三尊像
入仏開眼護摩法要

秘仏である身代不動明王のご真前に前立不動明王三尊像を造立て、入仏開眼式を営みます。



5/28
(金)

春期
不動明王大祭

5/4(火祝)
5/5(水祝)

第79期名人戦
七番勝負第3局



身代不動尊のご真前にて災難消除、病気平癒、無病息災、身体健全、交通安全、家内安全の祈禱を行います。

行事・祈祷・供養のお問合せ・お申込みは
祈祷受処 または
052-262-0735
にて承ります。
(年中無休)

7/10 (土)
8/8(日祝)
8/9(月祝)
8/10(火)

お盆合同法要



8/12(木)
8/15(日)
迎え火
送り火

「迎え火」では、12日の夕刻に松明を焚き、ご先祖様の精霊をお迎えします。「送り火」では、15日の夕刻に松明を焚いてお盆の間に一緒に過ごしたご先祖様の精霊をお送りします。

8/14
(土)

旧暦七夕

万松寺では、旧暦にのつとつて七夕を行います。願い事を書いた短冊を奉納していただき、七夕祈祷会では皆様の願い事が叶うようにお焚き上げを行います。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、行事・イベントは変更となる場合があります。
詳しくはホームページをご確認ください。

これから行事

僧侶が教える

仏教の豆知識

【護摩】

ニュース番組などで「プロ野球選手が火と向き合っている」

様子を目にしたことがある方がいらっしゃると思います。それは「護摩」のワンシーンです。

元プロ野球選手の金本知憲氏

が精神鍛錬のために参加して以

来、新井貴浩氏をはじめとした後輩選手が、毎年護摩行を通じて精神修行を行っています。

プロの野球選手が顔を赤くして修行に励む様子は、護摩がいかに大変なことであるかを物語っています。

■起源

「護摩」は約紀元前2000

年前に、インドやイランでヒン

ドウー教の基礎といわれているバラモン教やゾロアスター教の宗教儀礼として行われていたとされています。

仏教の一派である大乗佛教は、バラモン教と密接な関係にあるため、その成立の過程で密教系宗派の仏教行事として組み込まれたと考えられています。

日本における「護摩」は、奈良時代から密教の秘法として断片的に伝來しました。現在のような完全な形の「護摩」は、平安時代の初期に真言宗の開祖で

◆万松寺の護摩木 護摩札の紹介◆

■護摩祈禱

護摩壇の正面で錫杖加持と護摩札加持を行います。

祈禱料 五千円・一円

授与品 分身護摩札
叶御守



■護摩祈願・護摩供養

僧侶が護摩木を護摩壇に投じ、願目を仏様に届けます。

白龍護摩木

七龍護摩木

五百円／本

五百円／本

五百円／本

三千円／百八本

五百円／本

五百円／本

五百円／本

五百円／本

五百円／本

五百円／本

五百円／本

五百円／本



▲百八支木添護摩

▲供養護摩木

▲白龍護摩木

▲七龍護摩木

「護摩」の本尊は必ずしも決まっているわけではありませんが、一般的には不動明王をお祀りしています。

万松寺では身代不動明王をお祀りしていますが、諸堂再建を機

に、靈験ある身代不動明王の力を高めるために、真言式の護摩焚きの作法で行うこととしました。

この度秘仏である身代不動明王の前立仏を、敬虔な信者様にご寄進いただきました。



春期 不動明王 大祭

5月28日 金

10時から15時

信長の窮地を救った

靈験あらたかな

「身代不動明王」が

身代わりとなり、

護つてくださいます。

身代わりとなり、

護つてくださいます。

◆ご希望の願目を

祈祷いたします。

・厄難消除・無病息災

・病氣平癒・身体健全

・家内安全・交通安全

など

◆大般若 一万円

(御守 新冠退散御守 身代わり餅)

◆祈 祷 五千円

(木札 新冠退散御守 身代わり餅)

ご予約は総合受付にて承ります

万松寺日記

✿ 信秀忌

■令和3年3月3日（水）
信秀忌を嘗みました。



この日は織田信長公の父であり、春彼岸合同法要では、万松寺納骨
万松寺を開いた織田信秀公の祥月
命日です。万松寺では毎年追悼法
要を嘗みます。

✿ 春彼岸合同法要

■令和3年3月21日（月）
3月22日（月）

春彼岸合同法要では、万松寺納骨
堂契約者様のご先祖様を懇ろに供
養させていただきました。



✿ 初午会

■令和3年3月23日（火）

白雪稻荷様のご真前にて、商売繁
盛、金運上昇などのご祈祷を行な
いました。



✿ 春姫忌

■令和3年4月23日（金）
初代尾張藩主徳川義直公正室春姫
様の命日に、菩提寺である当寺で、
追悼法要を嘗みました。



✿ 開山忌

■令和3年4月22日（木）
織田信秀公の叔父で、万松寺初代
住職大雲永瑞大和尚の命日に追
悼法要を嘗みました。



■令和3年4月8日（木）

お釈迦様の誕生を祝し、報恩感謝
の法要を嘗みました。

✿ 降誕会



万松寺の永代供養納骨堂

お墓・供養のあらゆるお悩みにお応えします

万松寺納骨堂が
選ばれ続ける
3つの理由

1 由緒ある
寺院による
安心の永代供養

2 納骨後も安心な
負担の少ない
法要費用

3 駅から徒歩3分
天候に左右されない
屋内施設

0120-157-942
または万松寺総合受付まで